

報告事項ナ

県内の国史跡における行事の開催結果について

国史跡妻木晩田遺跡ほか、県内の国史跡に関して9月から10月にかけて開催された行事の開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成24年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

1 むきばんだ史跡公園「秋麗まつり」について

1 概要

9月22日(土)にむきばんだ史跡公園「秋麗まつり」を開催しました。当日はさわやかな晴天に恵まれ、2200名ものみなさまにご来場いただきました。

今年は、これまでのイベントに加え、同じ弥生時代の青谷上寺地遺跡保存活用協議会のみなさんが来訪され、オープニングの収穫祭や餅つき、展示コーナーなどでまつりを盛り上げていただきました。また、地元高校生のみなさんによる郷土芸能の演技でも大いにステージが盛り上がりました。

2 イベント内容

① オープニングイベント「収穫祭」

弥生のムラ人による収穫祭に今年は青谷上寺地ムラから来客者がやってくるというシチュエーションで、オープニングイベントを開催しました。

② ステージイベント

- 「荒神神楽」・・・日野高校生と鳥取荒神神楽研究会のみなさん
- 「淀江さんこ節」・・・米子白鳳高校生さん(郷土芸能部)
- 「弥生まんが紙芝居」・・・松村宏氏(株式会社[白鳳]提供)
- 「古代米もちつき」・・・青谷上寺地遺跡保存活用協議会の皆さん

③ スペシャルイベント

- 弥生の森散策ツアー、草木染め体験、発掘体験、米子南高校生さんによる「竪穴茶店」、弥生のお菓子作り、ポニー乗馬体験、魚のつかみどり、むきばんだ缶バッヂづくり(妻木晩田応援団提供)、美水の郷古代ロマンウォーク(共催事業)

④ 古代体験等

- 古代米ごはんやドングリすいとん、鳥取若狭産鹿焼き肉「弥生の味体験」
- 火おこし体験、勾玉・石包丁作り体験、狩猟体験、脱穀体験
- 復元住居内での土器づくり体験とカゴづくり体験、弥生まんが紙芝居



荒神神楽



淀江さんこ節



収穫祭参加者の集合写真



竪穴シアター(弥生まんが紙芝居)

2 第9回池田家墓所^{とうろうえ}燈籠会について

(公財) 史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が主催する普及啓発事業の一環として、第9回池田家墓所燈籠会を開催しました。墓所内にある約270基の燈籠に来場者が一斉に灯りをともすほか、鳥取観世流連合会により第5回の開催以来となる能の奉納を行いました。また、昨年に引き続き鳥取池田家16代当主の池田百合子さんにもご来所いただきました。

1 日時

平成24年9月29日(土) 午後5時50分から午後8時まで

2 場所

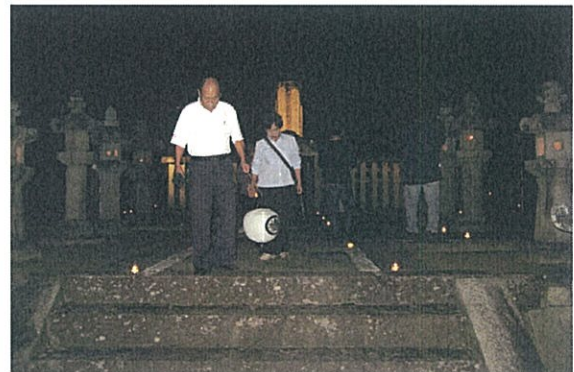
史跡鳥取藩主池田家墓所(鳥取市国府町奥谷、宮下)

3 伝統芸能等の内容

神輿練り込み、尺八の演奏(オープニングイベント)、能の奉納、宇倍神社麒麟獅子舞の奉納



「燈籠会」来場者へ提灯を配布



墓所内を散策



力強い御輿の練り込み



情緒ある尺八の演奏



「鳥取観世流連合会」の迫力ある能



「宇倍神社麒麟獅子舞」の優美な舞

3 青谷上寺地遺跡フォーラム2012

「海を渡った鏡と鉄～青谷上寺地遺跡の交流を探る～」の開催結果について

| | |
|-------|-------------------------------|
| 日 時 | 平成24年9月29日(土) 午後1時15分から午後5時まで |
| 会 場 | ダイキンアレス青谷(鳥取市青谷町井手) |
| 主 催 | 鳥取県埋蔵文化財センター |
| 参 加 料 | 無料(ただし資料代として560円を徴収) |

1 概要

- ・青谷上寺地遺跡から出土した青銅鏡と鉄器をテーマに、最新の調査研究成果を参加いただいた方にわかりやすく解説。
- ・青銅鏡、鉄器それぞれの研究の第一人者である岡村秀典氏(京都大学人文科学研究所教授)、野島永氏(広島大学大学院准教授)による特別講演。
- ・埋蔵文化財センター職員による青谷上寺地遺跡出土青銅鏡、鉄器についての報告。
- ・青谷上寺地遺跡と大陸、半島との交流についてさらに深く論点を掘り下げるため、講師と埋蔵文化財センター職員によるパネルディスカッションを実施。
- ・会場エントランスにて鳥取県内出土の青銅鏡、青谷上寺地遺跡出土鉄器を展示。

2 開催結果

(1) 参加者数 134名

(2) アンケート結果(回答数: 41件)

○フォーラムの内容の理解度について

- ・よくわかった 19人、普通 16人、難しかった 5人 (無回答 1人)

○フォーラムの主な感想

【好評的感想】

- ・講演、報告とも出土遺物に即した内容で、パソコン画像を使っただけの具体的でわかりやすい、かつ丁寧な話し方でとてもよかった。
- ・話の内容が予稿集にわかりやすくまとめられていたのがよかった。
- ・古代の感覚が伝わってくるような、おもしろい講演、パネルディスカッションだった。
- ・山陰地域の特色を明らかにするとともに、大陸や半島にも目を向けたとてもよい企画であり、昨今の東アジア情勢を考えるうえでも興味深かった。
- ・スタッフの対応、シャトルバスの運行など企画運営の丁寧さに感動した。
- ・ト骨などの呪術や航海術、鉄器生産、農具などをテーマとしてフォーラムを開催して欲しい。
- ・発掘された出土品をたくさん展示できる大きな建物を造って欲しい。

【課題とすべき感想】

- ・講師による講演の内容が難しかった。
- ・職員の説明が早口で聞き取りにくかったので、もう少しゆっくり話して欲しい。

→以上、課題とすべき感想も見られたものの大部分は好意的な感想であり、今後フォーラムで取り上げて欲しいテーマも多数寄せられた。



受付の様子



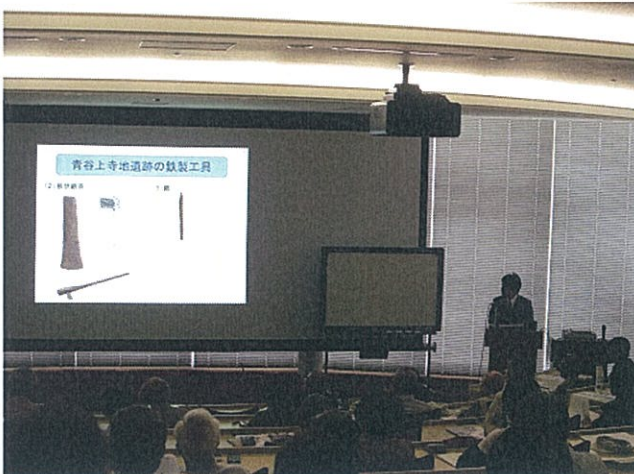
エントランスでの遺物展示の様子



岡村教授の講演



野島准教授の講演



センター職員による報告



パネルディスカッション



センター発行図書の販売コーナー



会場内の様子

4 青谷上寺地遺跡「田んぼアート」・古代米稲刈り体験について

1 「田んぼアート」について

青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会の活用事業として、古代米による稲の色の違いで絵柄を浮かび上がらせる「田んぼアート」と古代米栽培に取り組みました。

今年度は青谷上寺地遺跡から出土した琴板に描かれた「サメ」を表現しました。

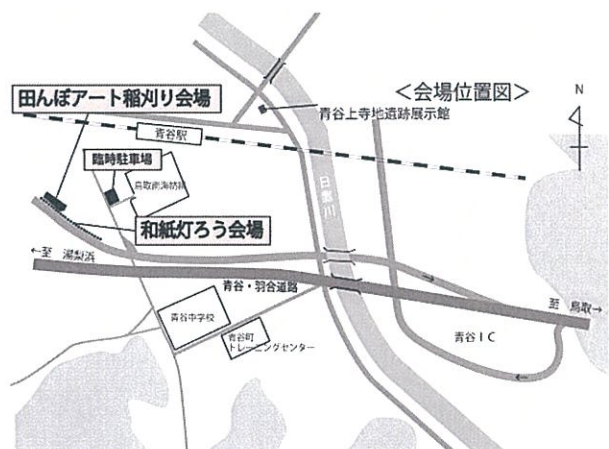
| 時期 | 項目 | 実施内容 |
|-----------|-------|-----------------------------------|
| 6月21日 | 田植え | 参加者は約130名（青谷小学校PTA及び一般） |
| 7月～9月 | 維持管理 | 草刈り、農薬散布等（かみじち21への委託） |
| | 見学台設置 | 8月18日～10月下旬まで。 |
| 10月21日 | 稲刈り | 参加者は約110名（青谷小学校PTA及び一般） |
| 10月28・29日 | 古代米活用 | 「青谷ようこそまつり」にて収穫した古代米で餅つきを行い、無料配布。 |



サメを表現した田んぼアートの現状（10月8日現在）



田んぼアート見学台の設置状況



田んぼアート等の位置図

2 古代米稲刈り体験等の実施状況写真

【田植え体験の様子（青谷小学校PTA等）】



【稲刈り体験の様子】



【脱穀体験の様子】



【古代米もちつきの様子】

